

瀬戸市立水無瀬中学校「地域未来塾」

水無瀬中
サポート
ステーション

取組の効果

今年度から配置された地域学校協働活動推進員と地域連携担当教職員との連携により実施した。大学生の中には、教員志望の卒業生も含まれており、生徒と大学生双方にとって有益な事業となった。参加した生徒や保護者からの「来年度以降も継続してほしい」という声から、学習意欲向上につながっている様子が伺える。感染症対策として、家を出る前の体温測定や、体調に不安があれば参加を遠慮してもらうことをお願いし、現地では手洗い、手指の消毒、体調チェック、マスクとマウスシールドの着用を義務付けた上で活動した。

背景・ねらい | 地域学校協働本部の設置を受け、地域学校協働活動推進員が地域の大学生に呼びかけ学習支援を実施。身近なロールモデルである大学生との交流から生徒の学習意欲向上を図ることをねらいとする。合わせて地域人材の参画をきっかけとし、地域と家庭と学校の持続可能なつながりや循環を整え、地域の教育力の向上を目指す。

対象校・対象者 | 瀬戸市立水無瀬中学校3年生

実施教科 | 全教科

実施場所 | 中学校内空き教室

実施の形態 | 自習形式を基本とし、わからない問題を大学生サポーターに質問し、指導を受ける。大学生が指導方法に困ったときは、他の大学生と助け合ったり、教員からアドバイスを受けたりすることで、大学生の指導力向上にもつなげる。

実施日・回数 | 全6回 午後2時～5時のうち2時間程度

登録人数 | 全6回で延べ305名参加（登録制ではない）

参加人数(平均) | 約50名



コーディネーター等の取組の様子

事前準備（日程調整、資料作成、出欠確認等）と当日管理（出欠確認、大学生サポーターの援助等）を行っている。